

しなやかに、ひそやかに、強靱に生きた作家。六十余点。

ボタニカル 1044455 個人展



う  
つ  
わ  
に  
宿  
る  
も  
の  
  
ル  
ー  
シー  
・  
リ  
ー  
展

Lucie Rie

白物と緑の愛蔵花生 1979年展 個人展

2006年12月12日(火) - 2007年1月28日(日)

主催 / 静岡アートギャラリー 協賛 / 静岡市文化芸術財団 後援 / 静岡県教育委員会 静岡市教育委員会 協力 / 株式会社ヒューستن ニューオータニ美術館

■開館時間 / 午前10時 - 午後7時(入館は6時30分まで)

■休館日 / 月曜日(12月24日 - 1月4日は年末年始休館、1月8日は展覧し翌日休館)

■入館料 / 500円(400円) 中学生以下無料

※1円は20名以上の団体料金 ※会場内観覧料を別途お支払いください ※観覧券は当日のみの取り扱い

∴ 静岡アートギャラリー  
Shizuoka ART Gallery



うまに宿るもの  
ルーシー・リー展



Lucie Lee photo James Austin

ルーシー・リー(1902-1996)は、ウィーンに生まれイギリスで活躍した女性陶芸家です。

1922年、ウィーン工業美術学校に入学したルーシー・リーは、ろくろに魅せられ陶芸の道を選びます。その後ウィーンに工房をかまえ、展覧会で受賞を重ねるなど次第にその才能を開花させていきました。1938年、ナチスの迫害を逃れるためイギリスに渡り、終戦後、本格的に陶芸活動を開始。1946年、生涯の友となるハンス・コパー(1920-1981)に出会い、テーブルウェアなどを共同で制作しました。極楽までそぎ落とされたフォルムに緩やかな装飾、動やかな精華が溢れ輝かに溢らくルーシー・リーの陶は、しなやかに、ひそやかに、そして強靱に生きた彼女そのものであるかの様です。

本展では、初公開作品を含む鉢、花生、テーブルウェア約60点と植栽研究の集となった陶製ポタン等により、凛とした気配を帯びるルーシー・リーの魅力を紹介します。



ビーゴの大鉢 1960年代初期 個人蔵



植栽用土のカップ&ソーサー 1960年代 個人蔵



フラワーポットの花瓶 1960年代 個人蔵



フェリスの文の杯 1960年代 個人蔵



ハーブルウェアの大鉢 1960年代 個人蔵

ただ、ポットを作りたい、と思ったのです——ルーシー・リー



黒陶のカップ&ソーサー 1960年代 個人蔵



ワンの陶器製/植栽用土の鉢 1970年代 個人蔵 撮影: 藤岡 浩 画



白陶の花瓶 1970年代 個人蔵

**講演会**  
「モダン・デザインと工芸ルーシー・リーの時代」  
●講師/金子賢治氏(東京国立近代美術館 工芸課長)  
●開催日時/平成19年1月13日(土)14:00-15:30  
●会場/静岡アートギャラリー 多目的室  
●定員/50名 ●会費/無料(複製会鑑賞には別途資料)

**ワークショップ**  
「陶製ポタンをつくろう」  
協力:静岡科学館ぐるぐる  
●講師/吉田 朝子氏(ギャラリー&アトリエ 主催)  
●開催日時/平成19年1月21日(日)9:00-15:00  
●会場/静岡科学館ぐるぐる 8F 創作ルーム  
●定員/高校生以上の定員は30名 ●会費/1,000円(材料費)

申込方法/講演会は12月12日(火)、ワークショップは12月10日(日)午前10時より受付開始。電話または直接静岡アートギャラリーへ(先着順)



Shizuoka ART Gallery  
〒422-8067 静岡市駿河区南町18-1 サウスポット静岡3階 TEL.054-289-5400 FAX.054-289-5410  
E-mail: info@art.shizuoka-city.or.jp URL: http://www.art.shizuoka-city.or.jp/